



ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 浦川 務
カトリック福岡司教区
編集人 浦川 務
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 1部70円

8・9月の意向

【教皇の意向】
（8月）共存
（9月）全ての被造物と私たちがの関係
【日本の教会】
（8月）平和
（9月）高齢者

戦後80年

平和への誓いを新たに

福岡教区長 ヨゼフ・アベイヤ司教



「平和を祈る集い」で展示されるマリア像（レプリカ）
浦上教会（長崎）の被爆マリア像

今年も平和旬間を迎えます。日本のカトリック教会の兄弟姉妹と心を合わせて、平和の実現を祈り、平和について学び、また、お互いに平和への思いを分かち合います。日本の教会の素晴らしい企画です。

核兵器廃絶

2024年に、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞したことはとても意味深いことでした。長年平和のために活動してこられた多くの方々の努力が認められ、核兵器廃絶の訴えは全世界に強く響きました。2019年広島市の平和記念公園で、前教皇フランシスコが

「確信をもって、あらためて申し上げます。戦争のために原子力を使用することは、現代においては、これまで以上に犯罪とされます。人類とその尊厳に反するだけでなく、私たちの共通の家の未来におけるあらゆる可能性に反する犯罪です。原子力の戦争目的の使用は、倫理に反します。核兵器の所有は、それ自体が倫理に反しています」と。

今年、司教団メッセージとともに「日本カトリック司教団核兵器廃絶宣言」も発表されました（同上記QRコード参照）。その中で次のように書かれています。「私たちは、キリストの福音に従い、対話を通じて平和の実現を目指し、すべての人の生命と尊厳を守るために、核兵器を完全廃絶するよう強く求めます」と。そして、日本の教会として取り組みたい具体的な行動も発表されています。皆

9月号は休刊です。

さん、宣言を読んでください。そして、ともに核兵器のない世界をつくっていきましょう。

歴史を踏まえて、
新たな未来を

私たちは毎日、新聞、テレビ、インターネットなどを通して、戦争のニュースに触れています。心の中で深い痛みとともに強い憤りを感じます。毎日のように、これだけの人々の命を奪う権利が誰にあるのでしょうか。子どもたちの悲惨な姿を見ますと、返事は明らかです。「誰にもその権利がない」と分かります。残念ながら人類は、日本も含めて、戦争を繰り返してきました。戦争を可能にするのは、人の尊厳を損なうイデオロギーや教育、権力の欲望

時の話題

「自由」と「平和」を子どもたちに

ある日、園児に質問をしてみました。「皆さんの父さん、お母さんが一番大事にしているものはなんだと思う？」すると、子ども達は即座に「お仕事」「パソコン」「車」「金」「釣竿」「携帯」「ゲーム」と答えました。なるほど。我に返って自分の中に生きている父のことを思い出しました。食事をしている時、お風呂に入る時、お出掛けの時、来客時、そして勉強や遊びと次々とその時に合

わけて語ってくれた父の言葉が蘇ってきました。それは、人としての基本的行動であったり、論議や叱責の入った親の想いそのものであったように思います。今なお私の心の奥深く残っている父の姿です。第二次世界大戦末期の頃だったでしょうか。学校校舎裏の小さい丘の横穴式防空壕に、教職員家族全員を避難させた後、家族の父親でもある先生方全員が本校舎2階の屋根に落下した焼夷弾から校舎を守るべく必死で消火に当たり、消し止めた後、全員が屋上から飛び降りた勇敢な姿を覚えていました。日本が、敗戦の流れの中で勝ち得た「自由」と「平和」を、これからも共有継続する国造

りに期待しながら、幼い子どもたちに、「皆さんの父さん、お母さんが一番大事にしているのは「みなさんです」と言うこと、「やっぱり」と嬉しそうな笑顔が返ってきました。「人は傷つけ壊し滅ぼす道具をたくさん作ってしまった。守り癒し育む道具はこの掌しか持っていないのね。森のみちであなはそう言うって両掌の中に傷を負った小鳥をそっと包み込んだ。その晩夢を見た。あなたは大きな大きな掌でこの青い地球をそっと包んでいた」（『掌』光原百合）

シヨファイユの
幼きイエズス修道会
久留米修道院 Sr.西山晃代



教区100周年
ロゴマーク

2027年 福岡教区創立100周年に向けて
準備の2年目へ共に歩み出す

自分（自分の国）だけの利益の追及などであることを忘れてはいけません。反省すべきことを反省し、同じ過ちを繰り返さないように努めることは大事です。そのために、確かに構造的なアプローチが必要ですが、一人ひとりの回心



初聖体の子どもたちに語りかける司教

98年前のこの季節、扇ぐことしか術のない人々にとつてはどれほどの暑さだったのだろうか。むしろ「感謝」「情熱」「希望」に胸を熱くし、まわりつく蒸れた大気など気にもかけなかったかもしれない。

7月16日の福岡教区創立記念日を目前に控えた7月13日、カトリック大名町教会において「福岡教区100周年準備の2年目開始のミサ」がヨゼフ・アベイヤ司教により司式され、400人を超える

信者が参列した。説教の中で、司教は次のように語りかけた。「福岡教区の共同体が今まで歩んできた道を振り返って感謝し、福音に触れるときに伝わる情熱に促されて歩み続けようとしている。それにより、希望をもって将来に向かって行くことができる。この『感謝』『情熱』『希望』は私たちの歩みを導く光である。神と人々にゆるしを求め、福音に立ち返る恵みを祈らなければならぬ。教区創立100周年記念日までの3年間は償いと回心のときでもある。『互いに支え合う交わり』

幼児（おさなご）が周囲の環境から受ける影響の大きさを表す言葉に「三つ子の魂百まで」というものがあります。確かに、人は言葉や価値観等を生まれて数年のうちに人生の基礎として身に付けます。その時期に何を耳にし、目にしたかによって、その人の人生は大きく異なることになるでしょう▼私たちは聴覚から多くのことを吸収します。しかし、聞き覚えによって身に付けた言葉や知識は、時として誤って私たちの記憶に記され、その誤りに気づかないままに使われる場合があります。例えば、「浮き足立つ」と言うとき、多くの場合、何か楽しいことを前にしてワクワクするような時に使っていないでしょうか。しかし、実際の表現は、怖いこと等を前に怯えたような様子を表すためのものなのだそうです。同じようなものに、「役不足」があります。この表現も、一般的には役割や使命に対して任される人が、自身の能力が十分でない謙遜するときに使っています。しかし、本来の使い方は謙遜の意味を持たず、単に使命を担う人の能力の高さに対して、使命や役割が見劣りしている事を表現するものなのです。私たちは、誤解していることに気づかないことが多いようです▼同じようなことが、聖書や教会の教えの理解についてもあるのではないのでしょうか。「我田引水」的な聖書の理解や願望に基づく教会の教えの理解がないでしょうか。改めて聖書のみことばや教理の教えに耳を傾け、学ぶ機会を大切にしましょう。



2024年度 福岡教区本部会計報告

2021年4月に設置された福岡教区経済問題評議会を中心に、教区財政の見直しを行い4年が経過しました。金融環境の影響もあり、毎年、改善方向にありま

す。併せて小教区の皆様のご協力に感謝致します。

前年度経常収入は宗教活動収入141,636千円、資産運用収入303,650千円、繰入金収入11,285千円、285千円合計456,571千円となりました。

宗教活動収入の中には、小教区に負担いただいている小教区分担金76,762千円、神学

校援助金23,602千円合計100,364千円等が含まれています。

経常支出は宗教活動費231,466千円、資産運用支出10,683千円、繰入金支出32,007千円合計274,156千円です。

宗教活動費231,466千円の主な内訳は宗教活動費17,558千円、小教区助成金支出21,668千円、管理運営費38,494千円、人件費126,384千円、その他分担金支出16,660千円です。結果、経常収支差額は182,415千円の収入超過となりました。

その収益を元に、小教区単独ではどうしても難しい工事等の支援を行いました。過去5年間の経常収支を下記でグラフに掲示していますのでご参照下さい。

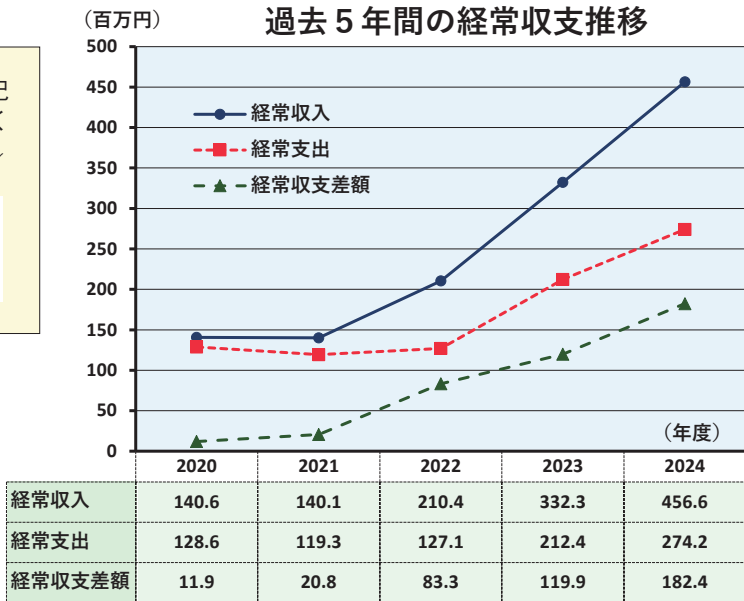
前年度「教区財政支援預け

金」は五つの小教区、一つの墓地から68,172千円の追加をいただき、合計37の小教区と3つの墓地からお預かりしています。うち、運用額は851,957千円で、年間受取利息は47,638千円を計上することができました。お互いに支え合う資金として、引続き、追加のご検討をお願い致します。

今後予定される設備工事は教会の耐震化、LED化等があり、これからも資金は必要である一方で、金利のある時代となっているのも事実です。教区としても、小教区に報いる体制を検討しながら、一緒に歩んでいきたいと考えていますので、宜しく

教区会計担当者
青木 悟神父
(小倉教会)

過去5年間の経常収支推移



詳細は下記よりご覧ください。↓



福岡教区 2024年度 本部会計報告

(収入の部)		(単位 千円)	
科 目	決 算 額	説 明	
宗教活動費収入	141,636		
内 訳			
信徒通常献金収入	65	クリスマス献金	
援助金収入	23,812	教区援助金 神学校援助金	
寄付金収入	27,218	一般寄付金 指定寄付金 司祭寄付金	
特別献金 指定献金	396	広報活動援助金 その他特別献金	
指定献金	322	臨時指定献金	
分担金収入	89,823	小教区分担金 幼稚園分担金 小教区租税分担金	
資産運用収入	303,650	運用利息収入 雑収入 資産利用料収入	
繰入金収入	11,285	本部会計繰入金 小教区会計繰入金 幼稚園会計繰入金	
経常収入合計 ①	456,571		

(支出の部)		(単位 千円)	
科 目	決 算 額	説 明	
宗教活動費支出	231,466		
内 訳			
宗教活動費	17,558	祭儀行事費 司祭研修費 委員会活動費 宣教広報費	
助成金支出	21,668	教育養成費 図書資料費 会議費 寄付金	
その他の宗教活動費	8,787	小教区助成金 幼稚園助成金	
指定献金支出	1,915	中央協議会納付金支出 大神学院分担金	
管理運営費	38,494	指定献金	
教区内納付金支出	16,660	消耗品費 通信費 水道光熱費 営繕費 賃賃料	
人件費	126,384	報酬委託手数料 租税公課 損害保険料等	
資産運用支出	10,683	その他分担金	
繰入金支出	32,007	司祭 職員 法定福利費	
経常支出合計 ②	274,156	雑損	
経常収支差額 ①-②	182,415	小教区会計繰入金支出	

第1回 福岡教区宣教司牧評議会

6月29日、「静かでありながら宣教師魂を感じる方」とレオ14世教皇様の総長会での印象を紹介するアベイア司教の言葉から、第1回福岡教区宣教司牧評議会が始まりました。

また、青年会活動を司祭・修道者の召命につながるものとして考え、一致協力して取り組み、小教区においてミサの司祭・修道者の召命のために祈ってほしいと司教より要望が出された。

【報告事項】

(1)福岡教区修道女連盟の解散が報告され、それにより福岡教区宣教司牧評議会規約の一部改正が報告された。

(2)教区各委員会からの活動が報告された。今回、青年会活動の具体的な活動報告があり、特に昨年より活動が始まったカタラント（福岡教区青年センター）の通常活動

【100周年委員会より】

100周年・行事専門委員会より、教区内巡礼地のパンフレットおよび、エコバッグ、缶バッジ、Tシャツの作成と

【検討事項】

8月11日（月）午前10時開催の「平和を祈る集い」の内容と準備状況についての報告があった。なお今回、午前の部において日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）の九州ブロック代表者の講演、午後部の部において高校生平和大使による講演と、その後に平和大使と各地区高校生代表によるパネルディスカッションが行われる。また浦上教会被爆マリア像（レプリカ）、日本被団協パネル、平和に関する絵画や俳句、川柳、短歌等の作品を展示の予定。

【その他】

教区財政支援預り金協力について、感謝と運用状況についての報告があった。

現在37の小教区と3カ所の墓地会計の協力を得ているが、さらなる協力依頼が教区会計よりなされた。なお、この益金は小教区では対応できない補修や整備のために活用

【分かち合い】

テーマ：青年・外国籍の方々が教会にもたらす豊かさについて

・青年のはつらつとした姿は、教会に活気と希望を与え、そのような青年の姿が子どもたちの目を輝かせ将来を

福岡教区創立100周年委員会

教区創立100周年準備の年2年目開始の日である7月13日、6回目となる100周年委員会がカテドラルにて開催された。会議の冒頭、アベイア司教は2年目開始のメッセージでも指摘したとおり、小教区等で1年目の歩みの振り返りを必ず行つてほしいことと、その上で、準備の年2年目に取り組んで欲しいことを述べられた。広報委員会からは2年目のポスターをすでに各小教区に送付しており、見た目は1年目のポスターと大差がない印象を受けるが、2

感じさせる。・外国籍の信徒の信仰者としての真摯な姿を見て、私たちが忘れていたものを思い出させてもらっている。文化や習慣の違いが信仰生活の違いをもたらししているが、その違いがお互いの気づきとなり良い刺激となっている。



記念グッズとして紹介されたTシャツやボロシャツなど、一般にも宣伝して販売する方向で準備することが決定された。

それから、すでに100周年巡礼教会が指定され、巡礼をする人たちが増えているが、巡礼指定教会や、指定教会ではない今村・本郷教会にゆかりの深い殉教者について、それぞれ簡単に紹介するパンフレットを、行事専門委員会が中心になつて作成してそれらの教会に送付した。巡礼の際には、訪れた先でいただくようにしてほしいということも確認された。また、予算面での支援と意識高揚のために、100周年記念のロゴをあしらったTシャツやボロシャツ等のグッズの作成・販売も決定した。

今後、多くの信徒に自分のこととして意識づけ、霊的な成長を目指していくことも課題である。

大名町教会 田中重治神父



サンパウロ
福岡宣教センター



営業時間:
10:00~18:00
定休日: 日曜日・祝日
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください



(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業

- ・一般住宅（新築・改築工事）
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 森山工務店

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

カトリックの教会葬
共に祈り・共に送る

株式会社
みこころ舎

問合せ
050-3032-1333



教区宣教養成委員会主催「終活を考える」 自分らしい終末を迎えるために



120人余りが参加した終活講座

説明を受けた。私は多少分かってはいるつもりだったが、自分事ではなく他人事として捉えていたことに気づく。120人余りの参加者は講師の説明に聞き入り納得・共感。説明後「小教区の信徒に是非聞かせたい」と言っていた。私も同感だった。第2回は臨床心理士の原口芳博さんによる「老いを受け入れ、死を迎え入れる心を作る」という内容だった。

教区報を読み、「終活」の講座「自分と愛する人のために考え、準備し、実践すること」を知った。参加することにした。

第1回は「いざという時のために」というテーマで、安河内晴香さん（みこころ舎）から通夜・葬儀を含め、教会で行う具体的な準備について

福岡教区の殉教祭 殉教者のこころに思いを馳せて



福者アダム荒川に思いを馳せ手を合わせる参加者たち

ミサ前にアダム荒川の殉教までの証が朗読された。その後、「福者ペトリ岐部と187殉教者の取り次ぎを願ひ、その列聖を求める祈り」を参加者全員で祈った。

ミサは入祭の歌「おおしくも」の力強い歌声にて始まり、司式を務めた天草三教会の主任司祭井手公平神父は、「私たちは今日、アダム荒川殉教記念のためにここに集まっています。天草のキリスト者がアダム荒川の意思を受け継ぐ事ができるように、このミサの中で祈りましょう」と招きの言葉を述べた。また、ミサの説教では、ある本を参考に「感染症が感染爆発

天草地方は梅雨入り直後より雨続きの天候で、天草の殉教者福者アダム荒川殉教記念ミサも、霧雨の中の大江教会で6月15日午後2時から本渡教会・崎津教会の天草三教会共催により行われた。

遠のいのちとはについての話を伺い、生と死が隣り合わせであることを聴いた。

第4回は柴田須磨子さんの「生きることは死ぬこと・死ぬことは生きること」を聴く。柴田さんの話を心から「聴く」ことができた。

佐賀地区宣教司牧評議会 信徒研修会



ベトナム人分かち合いグループの発表の様子

前年に続きヨゼフ・アベイヤ司教を講師に招き、福岡教区創立100周年の歩みの2年目のテーマ『未来に開かれた教会』となる」について、約90人の司祭・修道者・信徒が共に考えて分かち合う機会となった。

6月8日、佐賀地区宣教司牧評議会主催の信徒研修会が佐賀教会聖堂で開催された。

初めにアベイヤ司教より福岡教区宣教司牧方針にある「感謝」「情熱」「希望」が私たちの歩みを導く光であることの説明をあらためて受け、祈りのうちに未来の教会を各自で思い浮かべていった。そして、「あなたの小教区・地区の素

福岡地区カトリック女性の会 総会



出席者の質問に答える女性の会会長（左）

今の総会が6月14日に行われた。42回総会、改めて「42」という数を振り返る時、半世紀近く続いてきた女性の会に敬意を表し、先輩方の歩みに感謝申し上げたい。

現在女性の会委員は、フルタイム・パート勤務、仕事と親の介護や孫の世話、親の介護で離職、自分の病氣と向き合っているなど、それぞれの事情を抱えながらも、小教区の代表として、活動させて頂いている。

5月に日本カトリック女性団体連盟の総会が福岡の地で開催され、その熱気も冷めやらぬうちに、福岡地区カトリック女性の会（以下女性の

晴らしいこと、これからも大切にしたいこと」「これからはどんな教会になつてほしいか」の2つのテーマについて、まず一人で折って考えて付箋紙に書き込み、座席の前後のグループごとに10人程度で黙想を分かち合いながら、書き込んだ付箋紙を模造紙に貼り付けていった。

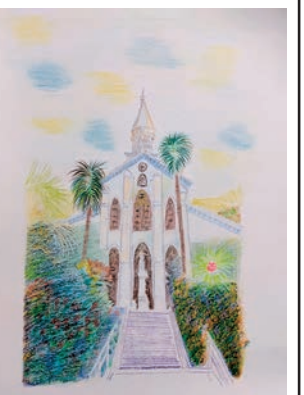
“門よ扉を開け” 受刑者の描いた絵

神父様より5枚ほどの絵を見せて、あまりに写實的で物語の世界にでもいるような、そんな感じの絵でしたので「はい素晴らしい風景画ですね」と答えたような気がしました。すると神父様が言われるには「これは刑務所で服役中の受刑者が描いた絵です」。それを聞くと驚かずにはおられません。油絵でもなく、水彩画でもなく、不思議な感じの絵でしたが、あとで「色鉛筆で描かれた」と聞いて、なるほどと思いました。

刑務所を知らない私にとって想像ではありますが、小さい窓の一室で、外の景色はもとより、一步も表へ出ることのできない作者が、どうしてこのような絵が描けるのか、不思議な思いでいたのですが、やっと答えが見いだせた気がしました。なぜなら、この方もカトリックの洗礼を受けて、私と同じく今四旬節を迎え、十字架の道行きの祈りを唱えておられたと思ったからです。主はその十字架の苦しみの中でも、回心した罪人をもゆるされました。この事実をもって、どのような人であっても主は万民を救われるということをしてやこの絵の作者のように、刑務所内の小さな独房を祈りのチャペルとし、またある時アトリエとし、神と自分との対話を行う日々の修練の場としていること、そしてそこで必死に自分自身と向き合い、回心して罪を償っているであろう姿に、垣間見ることができました。

どうか、自分の心のうちの「御聖櫃」に向かって祈り、門の扉が開かれ、天国に召されるその日まで、カトリック者として一緒に精進しましよと、語りかけたい気持ちでいっぱいです。

菊池教会信徒



受刑者の描いた大浦天主堂



☆シノドス流の教会—交わり、参加、宣教《シノドス最終文書》

教皇フランシスコ、シノドス第16回通常総会（著）



だれをも取りこぼさず、全ての人を巻き込もうとした革新的な2021〜2024シノドス。教皇フランシスコとシノドス第16回通常総会の連名により出されたその「最終文書」。本文のほかに、最終文書は「教会の生活と使命のための権威ある方向づけ」であり、「ペトロの後継者の通常の教導職に数えられるもの」と明言する教皇の「付記」と、シノドス後の使徒的勧告は公布しないことを告げる最後の全体会議閉会あいさつを含んだ「付録」を収める。

カトリック中央協議会発行 税込価格880円

ど・ろさま
Spaghetti
長崎スパゲッティ
Since 1883

株式会社サンフリード ど・ろさま麺工場
長崎市西出津町2528-1
TEL(0959)23-0610
FAX(0959)23-0611

右記URLから
ご注文できます

社会医療法人 雪の聖母会

聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115

聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306

信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか

URL: <http://www.st-mary-med.or.jp/>

「QRコード」という名称はデンソーウェブの登録商標です。

年間目標 『未来に開かれた教会』となる

福岡教区創立 100 周年に向けて
かつどう・できごと掲示板

「シノドス的」な教会の歩みを推し進めましょう！

2027 年 7 月 16 日まで

あと 23 ヶ月



スタンプを押した
佐賀教会のページ

2 年目の歩みがスタート！
今年のテーマ：『未来に開かれた教会』となる。希望を持って巡礼を続けられるよう祈ります。

— 8 つの巡礼指定教会 —
その 5. カトリック佐賀教会
聖堂正面に聖ペトロと聖パウロの像が置かれています。

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：希望の巡礼者 ※8月は休み
日 時：9月11日(木) 10時～15時
内 容：「希望」と平和
主はあたえてくださる 平和における希望
次 回：10月9日(木)
内 容：「希望」と福音宣教
※2025年から、指導はチームで行われます。
問 合 せ 先：真命山諸宗教対話センター
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7
E-mail shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

【福岡地区カトリック女性の会 主催】
聖モニカ祭

[日 時] 8月30日(土) 13時～15時
[場 所] カテドラル大名町教会 大聖堂
[感謝ミサ・追悼式] 司式：ヨゼフ・アベイヤ司教
[問合せ先] 福岡地区各教会の女性の会委員



【福岡教区宣教養成委員会 主催】
黄昏時の人生に「燈火」を掲げて生きる
～ ある臨床心理士の旅路 ～

[日 時] 9月15日(月・祝) 14時～15時30分
[場 所] カテドラル大名町教会 1階講堂
[講 師] 原口芳博(臨床心理士・精神保健福祉士)
[問合せ先] ☎092・741・3687

シスターと一緒に
イエス様と分かち合ってみませんか Part 6
～共に生きる(シノダリティ)～

[日 時] 9月23日(火・祝) 10:00～16:00
(昼食と一緒にいただいております(終了))
[場 所] 聖心のウルスラ宣教女修道会 福岡修道院
[対 象] 高校生・青年・独身者
(希望であれば中学生も可)
[問合せ先] ☎092・512・0033
(聖心のウルスラ宣教女修道会福岡修道院)
※参加費は無料です。当日は受付のため、開始時刻の少し前に修道院へお越しください。



聖ピオの聖遺物展示

[日 時] 9月26日(金)～10月2日(木) (9時～17時)
[場 所] 高宮教会聖堂
毎日10時にミサ(日曜は9時半)
[問合せ先] ☎092・531・6494 (高宮教会)

— 召命を共に祈る会(8月は休会) —

福岡地区 9月16日(火) 13時30分～ 大名町教会
〔問合せ先〕☎092・921・4532 山口
北九州地区 9月13日(土) 14時～ 小倉教会
〔問合せ先〕☎0949・24・9905 藤井
熊本地区 9月18日(木) 9時30分～ 健軍教会
〔問合せ先〕☎096・369・8896 松上

— 各種団体の定例会 —

詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報 8月号」、または右記 QR コードからご確認ください。



福岡教区広報室アドレス
https://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com



9月のこよみ

案 内 板

会合と催し

8月のこよみ

1日(月) すべてのいのちを守るための月間(10月4日まで)
3日(水) 関西万博シンポジウム(大阪)
4日(木) シノドス 会議(大阪)
5日(金) けがれなきマリア会黙想会(～10日 東京)
7日(日) 年間第23主日 被造物を大切に作る世界祈願日
8日(月) 聖母マリアの誕生
10日(水) 福者セバスチャン木村司祭と204殉教者
14日(日) 十字架称賛(年間第24主日) 豊津教会75周年
祖父母と高齢者のための世界祈願日
15日(月) 日本カトリック看護協会全国大会(久留米・聖マリア病院)
21日(日) 年間第25主日 田川教会司牧訪問
22日(月) さいたま教区司祭黙想会(～26日 軽井沢)
27日(土) 熊本地区巡礼(天草)
28日(日) 年間第26主日 世界難民移住移動者の日(献金) 門司教会司牧訪問
30日(火) 第2回教区全司祭集会(大名町教会)
【10月】
1日(水) 高宮教会(聖ピオの記念ミサ)
4日(土) ラウダート・シ10周年記念シンポジウム(旧神学院)

■ゴシックは司教日程

— 和田墓地 開放日と追悼ミサ —

開 放 日：8月13日(水)～15日(金) 10時～15時
追悼ミサ：8月15日(金) 14時～(ミサ後納骨式)
問合せ先：☎080-2771-6554 福岡教区納骨堂委員会

※福岡教区で奉仕された司祭の帰天日は右記 QR コード、または教区ホームページのカレンダーでご確認ください。



集いの詳細は、
各問合せ先に
お尋ねください。

■美野島司牧センター
ホームレスの方に温かい食事と衣類
毎週火曜日10時
調理 第2・第4金曜日
夜回り 21時
路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日14時
〔問合せ先〕☎092・431・1419 D・ジョンソン神父

■大濠カトリック教会館・宣教養成センター
主日の夕べのミサ
毎週日曜 18時(開館17時30分から)
○みことばのお弁当
第4木曜日10時
〔問合せ先〕☎092・753・6765 大濠カトリック教会館
○ミニアサロン大濠
第1・第3水曜日10時
〔問合せ先〕☎092・753・6765 角田

■高宮教会 アシジの聖フランシスコ帰天祭
〔日時〕10月3日(金) 18時
御父を讃える集い

〔日時〕8月7日(木) 15時
17時ミサ(司式：遠山満神父・聖アウグスチノ修道会)
〔場所〕笹丘教会(問合せ先) ☎092・211・2521(菅)
※ロザリオ持参のこと
■宣教養成委員会「黙想と祈りの集い」テゼの歌と共に
〔日時〕8月22日(金) 19時
30分～約1時間(場所) 大名町教会小聖堂(問合せ先) ☎080・322・7829(杉)
■高宮教会 アシジの聖フランシスコ帰天祭
〔日時〕10月3日(金) 18時

編集後記

5 回にわたり、分かち合せていただいた「教会の鐘の音について」のお問い合わせ。回答の作成にあたり、事務局の神父様からは「教会が鐘を鳴らすこと」について教えられていると感じています。完(W)

9月号は休刊です。



スリランカの信仰生活と
鳥栖教会での日々
Geekiyana Geeth Nirmal
Geekiyana (Srilanka)

全文と
日本語訳は
右記から→
Full text
and Japanese translation
available via QR code



පාතුලාලයෙන් තිලින ලද්දක් වූ කතෝලික දහම සමග ලාංකික වැසියන් එදාමෙදා තුර අපමණ හත්තියකින් බැඳී සිටිති.

ජේසු මැණියෝ මව් තනතුරේ හිඳුවා ගරු කරන ඔවුහු පවුලේ කාන්තා චරිතයන්ට නිසි ස්ථානය ලබා දෙන්නට දෙවරක් නොසිතති.

එමෙන්ම වර්ෂය පුරාවටම මාසයෙන් මාසයට ඒ ඒ පල්ලි ප්‍රධාන කරගෙන උත්සව පවත්වන ඔවුහු එවන් සුවිශේෂ දිනයන් හිදී රැකියා නිවාඩු ගෙන ඒවාට සහභාගි වීමට වසර මුල සිට සූදානම් වෙති.

මඩු දේවස්ථානය, තලවිල ශාන්ත ආනා දේවස්ථානය මාරවිල සිරිතුරු ස දේවස්ථානය, කදාන සෙබස්තියන් දේවස්ථානය, තේවත්ත බැසිලිකා දේවස්ථානය ශ්‍රී ලංකාවේ ප්‍රසිද්ධ දේවස්ථාන වලින් කිහිපයකි.

එසේම දේවදූත චන්දනාව ද ශ්‍රී ලාංකික කතෝලික ජනතාව සිදු කරනු ලබන අතර සෙබස්තියන් මුනිදු, මියායෙල් අගුදුන තුමා, ආනා මුනිතුමිය, නිකොලස් මුනි තුමා වෙනුවෙන්ම වෙන්වූ සුවිශේෂී දේවස්ථානද ලංකාව පුරා විසිරී පවතී.

කතෝලික පවුලක අලුත උපන් බිලිදෙකු මසක් පිරිමට ප්‍රථම බෞතීස්මය ලබා දෙන අතර, ජපානයේ ඒ සඳහා පිරිමි දරුවෙකුට කතෝලික පිරිමි පුද්ගලයෙක් හා ගැහැණු දරුවෙකුට කතෝලික කාන්තාවක් කැපකරු වුවද ශ්‍රී ලංකාවේ දී එයට කැපකරු මව පියා යන අර්ථය සහිතව ගැහැණු පුද්ගලයෙකු සහ පිරිමි පුද්ගලයෙකු සහභාගි කර ගනී.

(...Continued)



福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談
セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話 080-2694-4182
受付時間 月～金(祝日を除く)
10:00～12:00 13:00～16:00